

せんせいの なみだ

2026年 立花吾孺の森小学校



どうぶつの森小学校の先生が、今日は元気ありません。いつもは笑顔で、みんなと元気に走り回っている先生がぼんやりとしています。

テンちゃんが来たぞ

はい たっち！
おには今度はロクちゃんだ
みんなにげろ！！



まてー！
ドカン！

うさぎちゃん
なんでにげないの？
そこに立っているから
ぶつかってしまったよ

何をぼんやり見ているの？



ロクちゃん 見て
あそこで
さっきから先生が泣いている

どうしたのかしら？
いつもの先生じゃないみたい。

みんな やめやめ
おにごっこはここまで

ぼくたちの先生が
なんだか変なんだ
行ってみよう



先生 先生
どうしたんですか？

あっ うさぎちゃん
ロクちゃん テンちゃん

いや なんでもないんだ
ただ みんなを見ていると
なみだが出てきて

えっ ぼくたち何か
先生をなかせるような
悪いことしましたか？



いや
みんなは何も悪くないんだよ

というよりも
みんなが なかがよくて
たのしそうにしているのを
見ていたら

うらやましいな
いいなと思って
なみだが
出てきてしまったんだ



どういふことですか？
せんせいは
たのしくないんですか？

いや 今はみんなのおかげで
まいにちがたのしくて
しあわせな 気持ちでいっぱい
なんだよ

ただ せんせいの子供のころを
思い出すと

せんせいも みんなのように
楽しい小学校に
かよえていたら
しあわせだったのになど
思ってしまったんだ



先生が うまれたのは
山おくの小さな町なんだ

小学校は
全校で 30人ぐらいの
小さな学校だったんだ



6 ねんせいの時の
たんにんの先生がこわくてね

宿題をわすれると
つめたいろうかに
せいざさせられたんだ

そうじの仕方がわるいと
ほうきでしりをたたかれた

いつも いつも
おこられていたんだ



おこられるのはまだいいんだ

ある時こんなことがあったんだ
先生は 四人兄弟の一番下

着ていた服は いつも兄（あん）ちゃんたちのおふるだった

一番上の兄（あん）ちゃんが着
ていた服を弟が着て
その服を その弟が着て

一番下のせんせい（おれ）が
着るころは
ボロボロになっていたんだ



だから おかあちゃんが
いろいろなところに
ぬのをあてて直してくれて
着ていたんだ

それでもすぐまた穴があく
大好きな兄ちゃんたちの
おふるだから
はずかしいと
思ったことはなかった

これは一番上のあんちゃんが
ころんであけた穴
これは真ん中のあんちゃんが
けんかをしてあけた穴
あんちゃんたちが守ってくれて
いるみたいで
うれしいくらいだった



ところが
そのせんに 言われたんだ
「おい ひろし
おまえはべんりだな
ズボンにあなが
あいているから
べんじょに いっても
下げずにすむんだな」って

はじめは何を言われているのか
わからなかった。

しばらくして あなのこと
それもおしりのことを
言われているんだと
気がついたんだ

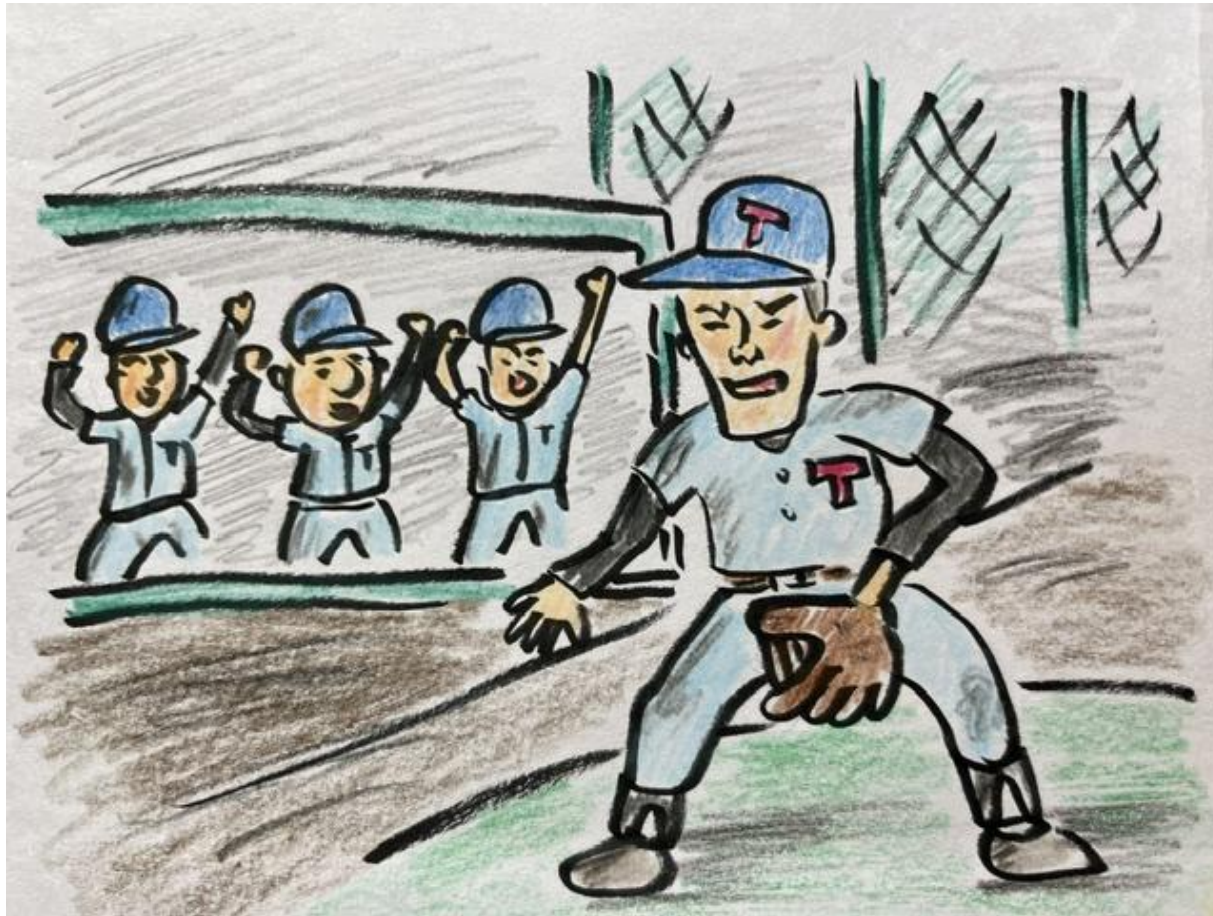


次の日から 学校に行っても
その先生の顔を見るのが
こわくなった

毎日
本で顔をかくして
くらすようになったんだ

ともだちにも
わらわれているようで
みんなと
あそべなくなってしまった

それがそつぎょうまで
つづいたんだ



中学校に入って
野球部に入って
大好きな野球に
夢中になるうちに

また むかしのような
元気がもどったんだ

そして こうはいができ
野球のコツを
教えるようになった

みんな どんどんうまくなり
県大会でも優勝したんだぞ



中学校の先生が
言ってくれたんだ

「ひろし おまえ
人に教えるのが上手だから
しょうらい 先生に
なるといいよ。」とね

そして 今
こうして
みんなの先生をしている



さっき
先生がなかったのはね

みんなの姿を見て

みんなが 幸せそうで
良かったな

そう思ったら なみだが出て
きてしまったんだ



だから いいかい

もし きみたちに
なにかつらいな
いやだなと
思うことがあったら

ぜったいに
がまんしちゃいけない

すぐに 先生に言ってくれ

もちろん家の人でもいい
手紙に書いて
わたしてくれるのでもいい
いいね みんな

せんせいのなみだ

作画 越智 健一郎（向井 一郎）